

2016年3月期 決算説明資料

2016年5月13日
オリックス銀行

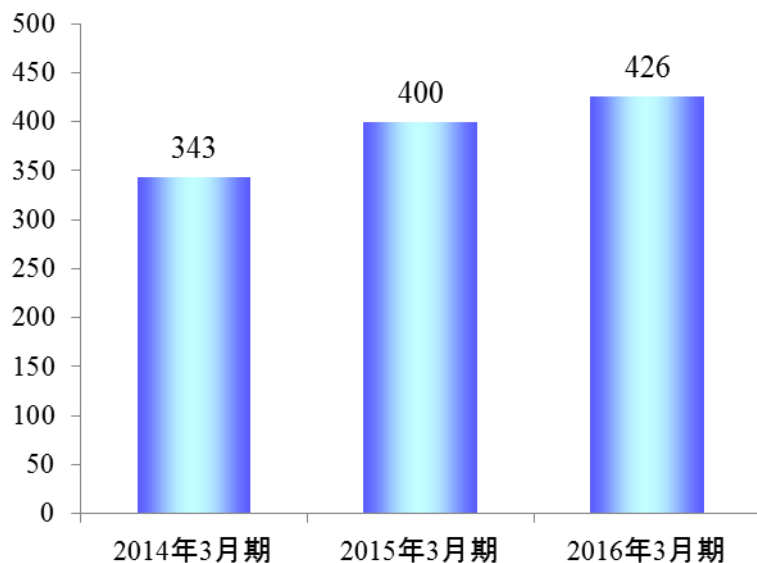
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、表示しています。

損益の状況

- 経常収益・当期純利益ともに最高益を更新。
- 業務粗利益は資金運用収支が大きく寄与し前期比で14%増。

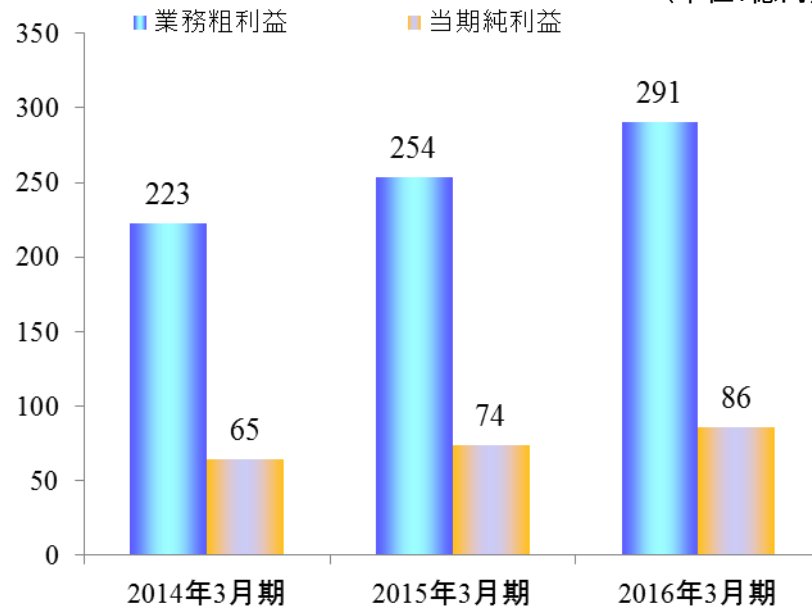
経常収益

(単位:億円)



業務粗利益・当期純利益

(単位:億円)

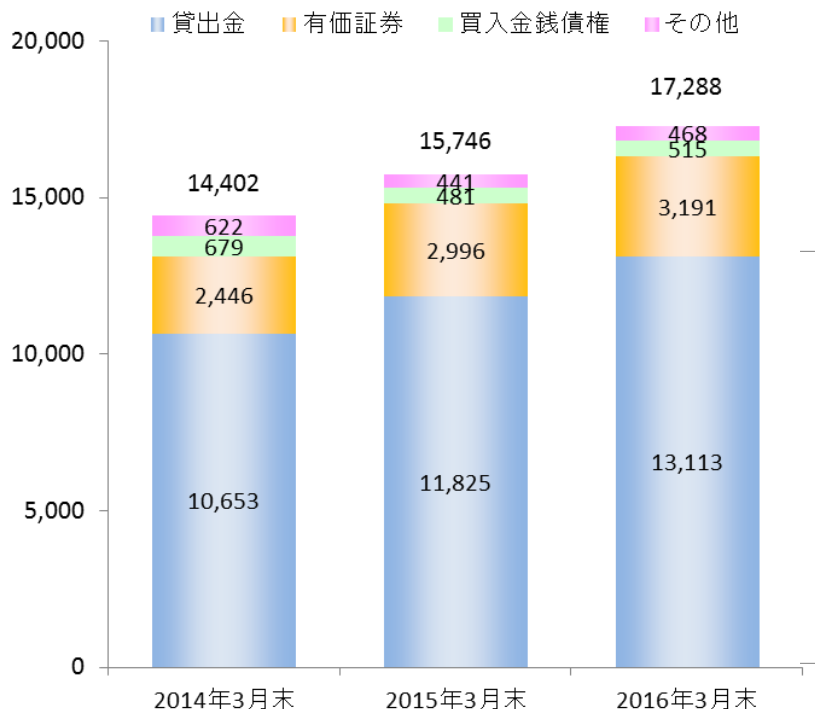


貸出金の状況

- 主力の住宅ローン(不動産投資ローン等)は順調に残高を伸ばし、当期1兆円を突破。
- カードローン残高は激しい競争状況下、前期末比で48%増。

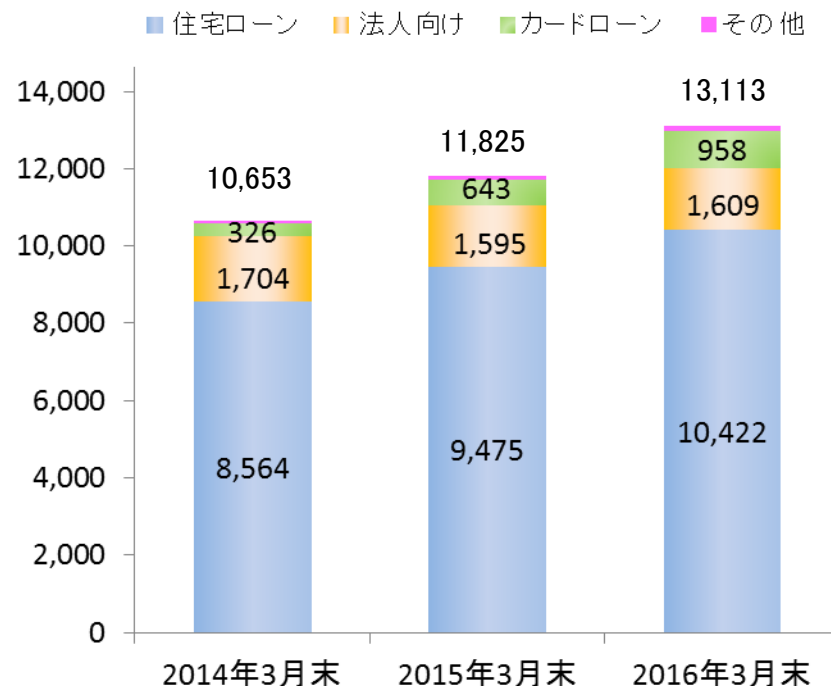
運用資産残高

(単位:億円)



貸出金残高

(単位:億円)

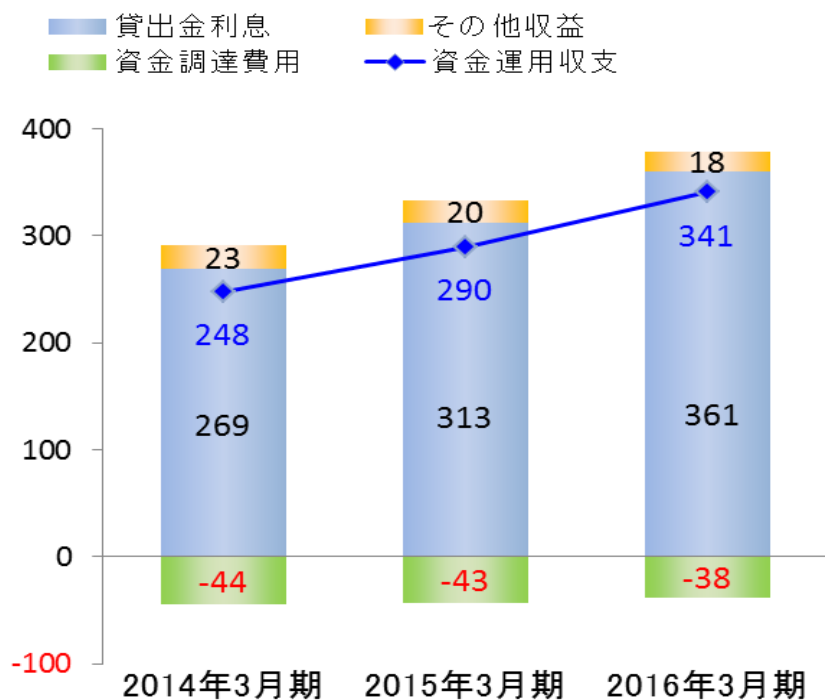


資金運用の状況

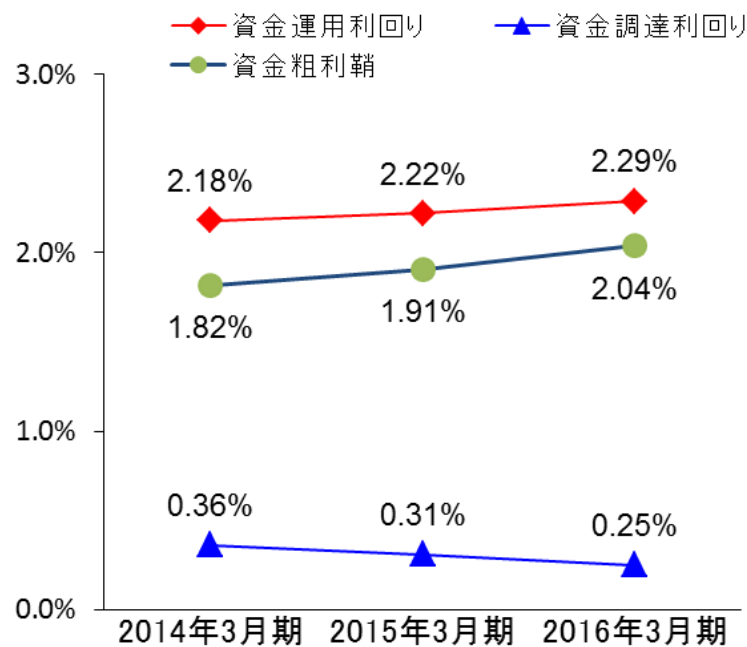
- 貸出金の伸長に伴い、資金運用収支は前期比で17%増。
- 資金粗利鞘は前期比で0.13ポイント良化。

資金運用収支

(単位:億円)



資金粗利鞘・利回り

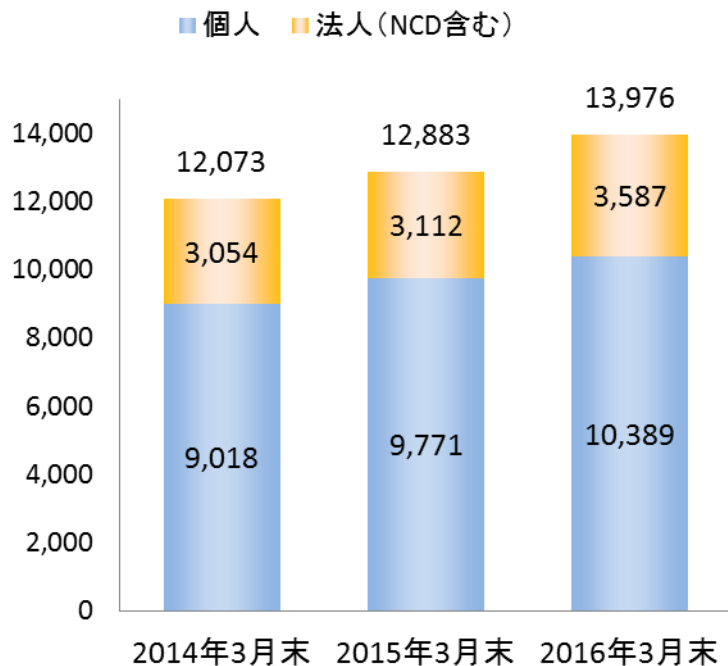


預金の状況

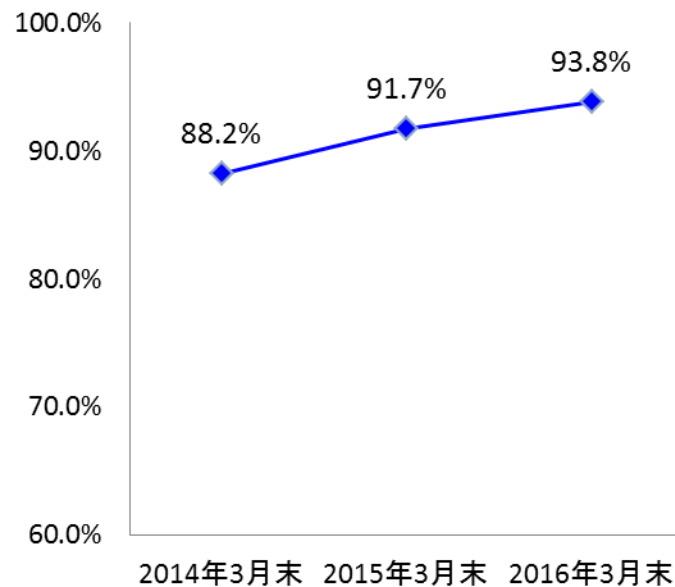
- 順調に伸長し、個人預金は1兆円を突破。
- 預貸率は高水準を維持し前期末比で2.1ポイント増。

預金残高

(単位: 億円)



預貸率

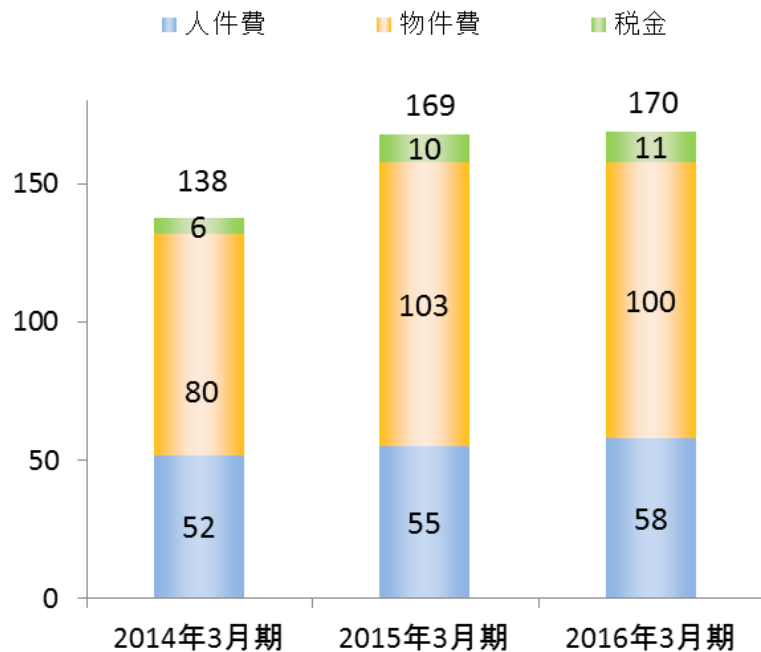


営業経費と経費率

- 業容を拡大しつつ営業経費を抑制、経費率は前期比で8.2ポイントの低下。

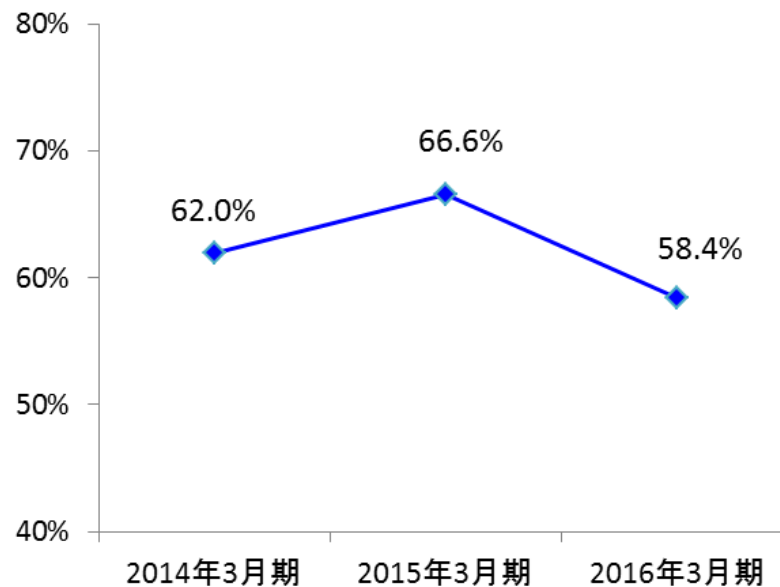
営業経費

(単位:億円)



経費率

※経費率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益

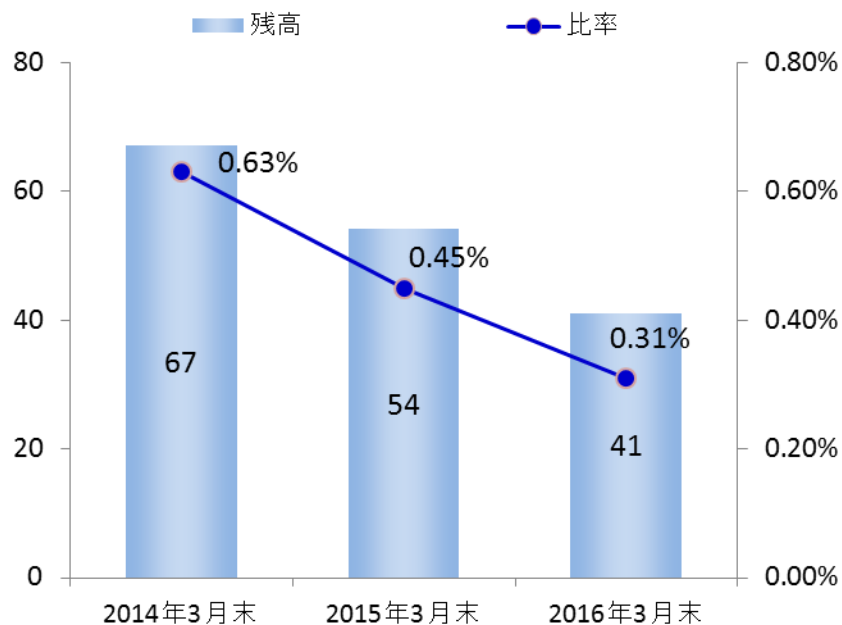


リスク管理債権(不良債権)の状況

- リスク管理債権残高・同比率は引き続き低減。
- 与信関連費用は2億円の戻り益を計上。

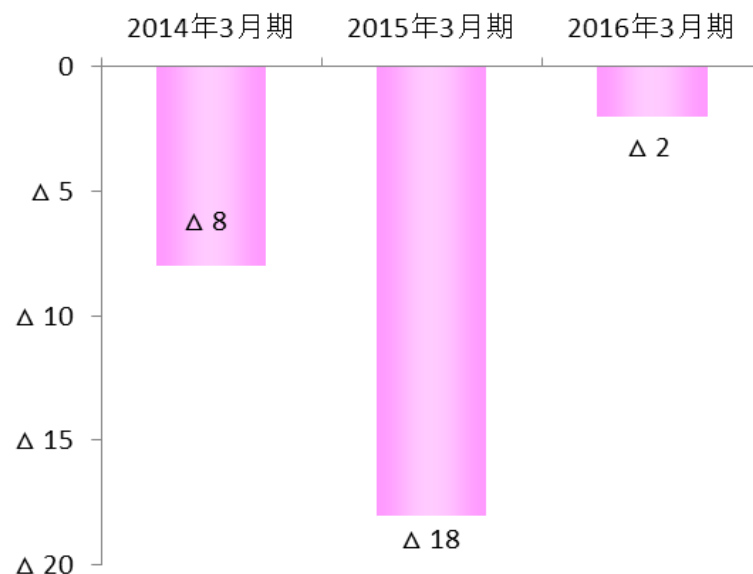
リスク管理債権残高・同比率

(単位:億円)



与信関連費用

※償却債権取立益を含む / △符号は戻り益 (単位:億円)



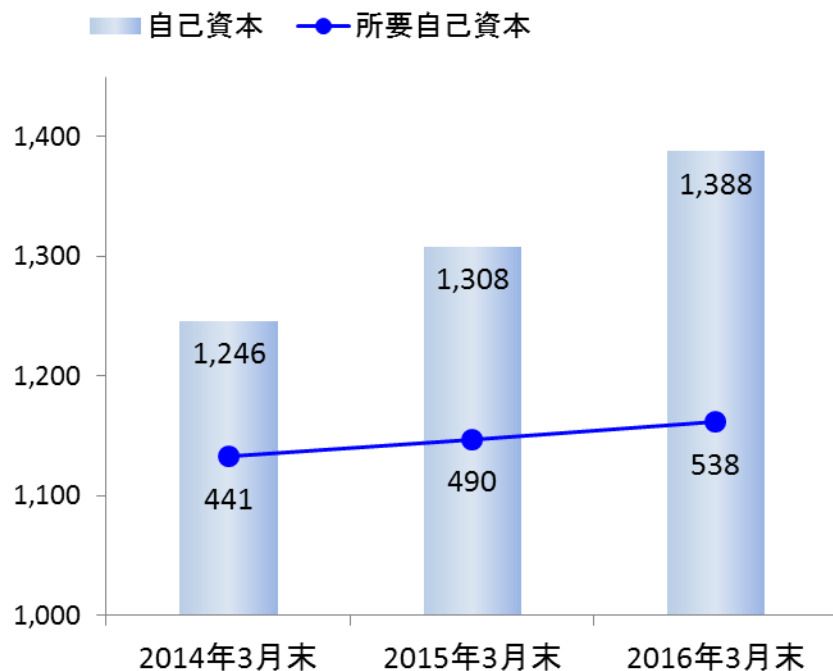
自己資本の状況

- 自己資本額は前期末比で6%増加し、自己資本比率は健全な水準で推移。

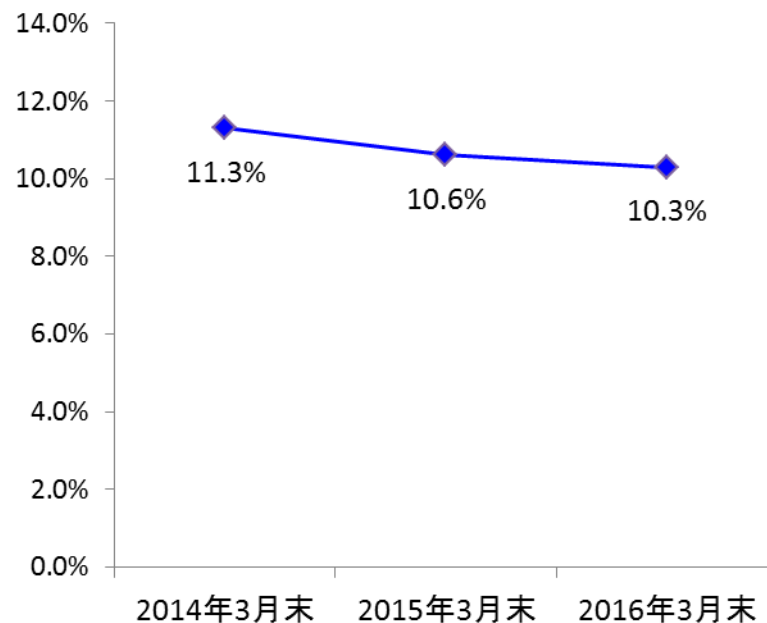
自己資本・所要自己資本

※所要自己資本は国内基準行の最低比率4%で算出

(単位: 億円)



自己資本比率

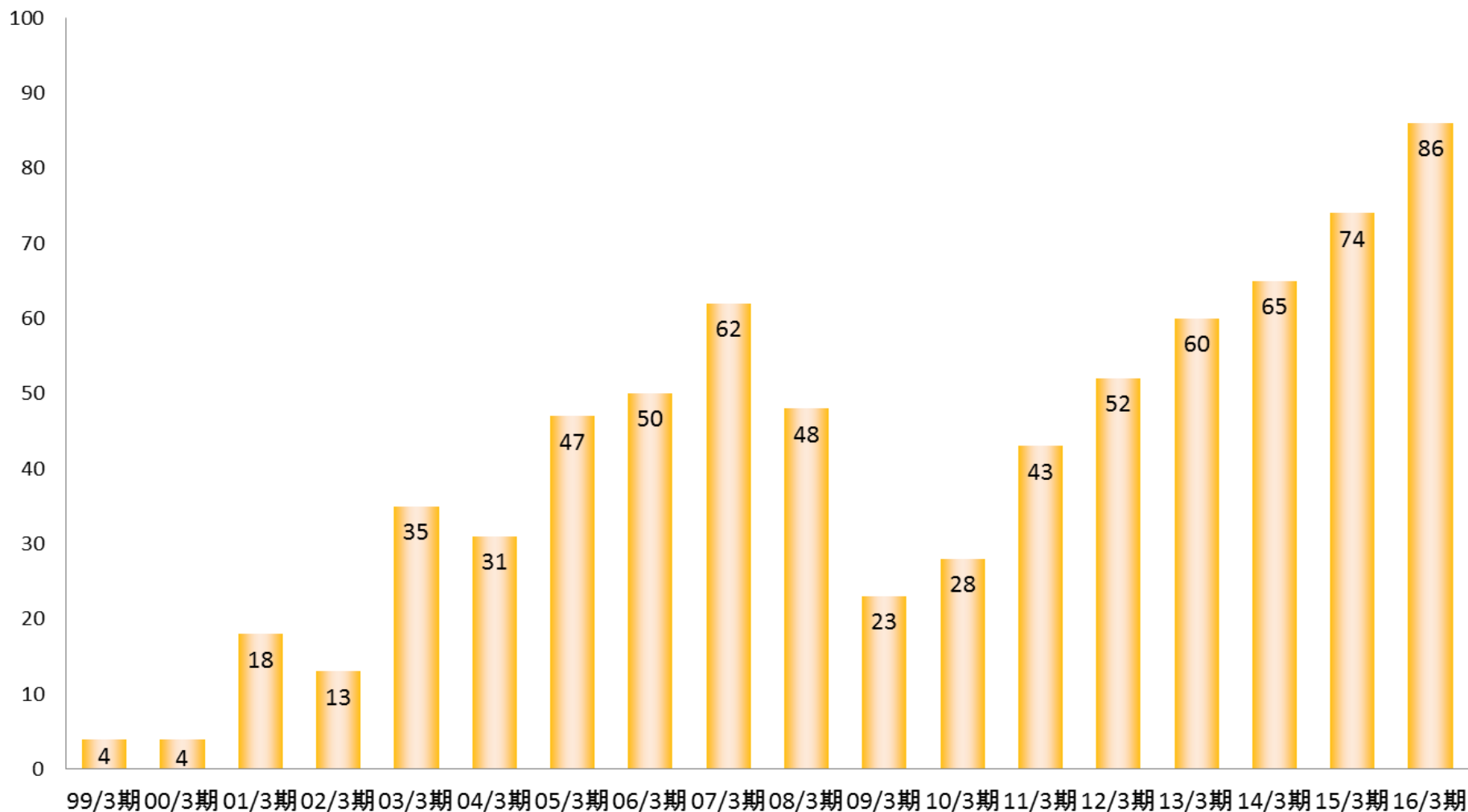


補足資料

補足資料(1) 当期純利益の推移

(単位:億円)

➤ 7期連続で増益を達成、3期連続で最高益を更新。



補足資料(2) 損益の状況

(単位: 億円)

- 増収増益。
- 資金運用収支は、貸出金の伸長および預金金利の低下を主因として増加。

	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	前期比	
				増減額	増減率
経常収益	343	400	426	25	6%
業務粗利益	223	254	291	36	14%
信託報酬	4	4	4	0	△1%
資金運用収支	248	290	341	51	17%
役務取引等収支	△ 34	△ 44	△ 60	△ 16	—
その他業務収支	5	4	6	1	41%
営業経費	138	169	170	0	0%
業務純益	84	85	121	36	42%
経常利益	106	118	131	12	10%
当期純利益	65	74	86	12	16%
与信関連費用	△ 8	△ 18	△ 2	15	—

※業務純益は「業務粗利益」から「営業経費」および「一般貸倒引当金繰入額」を控除して算出

※与信関連費用は△符号が戻り益

補足資料(3) 資産・負債・純資産の状況

(単位:億円)

➤ 貸出金の増加を主因として、総資産は前期末比で9%増。

➤ 純資産も着実に積み上がり、前期末比で6%増。

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	前期末比		2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
現金預け金	341	293	301	8	預金	10,473	11,135	11,795	659
コールローン	310	210	200	△ 10	譲渡性預金	1,599	1,748	2,181	433
買入金銭債権	679	481	515	33	コールマネー	-	60	425	365
劣後受益権	214	208	200	△ 8	借入金	1,003	1,455	1,361	△ 94
ABS他	465	273	314	41	信託勘定借	8	21	74	52
有価証券	2,446	2,996	3,191	194	その他負債	158	116	115	△ 1
国債・地方債	1,379	1,737	1,851	114	賞与引当金等	3	3	5	2
公社債等	1,035	1,228	1,327	98	支払承諾	55	82	119	37
特定社債	31	31	12	△ 19	負債の部	13,301	14,623	16,078	1,455
貸出金	10,653	11,825	13,113	1,287	資本金	450	450	450	-
その他資産	38	35	37	2	資本剰余金	178	178	178	-
有形固定資産	46	46	46	0	利益剰余金	624	698	785	86
無形固定資産	34	34	30	△ 4	株主資本合計	1,252	1,326	1,413	86
繰延税金資産	14	4	2	△ 2	評価・換算差額等合計	23	25	31	5
支払承諾見返	55	82	119	37	純資産の部	1,275	1,352	1,444	92
貸倒引当金	△ 44	△ 36	△ 33	2	負債および純資産の部合計	14,577	15,975	17,523	1,548
資産の部	14,577	15,975	17,523	1,548					

補足資料(4) 信託業務の状況

(単位:億円)

- 指定金銭信託はeダイレクト金銭信託を中心に順調に増加。
- 信託財産の残高は前期末比で5%減。

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
貸出金	286	458	680	221
有価証券	482	503	597	94
信託受益権	94	1,085	911	△ 174
受託有価証券	28	28	19	△ 9
金銭債権	1,950	1,760	1,629	△ 131
有形固定資産	1,118	1,390	1,104	△ 285
その他債権	12	0	0	0
銀行勘定貸	8	21	74	52
現金預け金	426	223	175	△ 47
資産合計	4,407	5,472	5,192	△ 279

指定金銭信託	120	428	695	266
特定金銭信託	62	59	65	5
金銭信託以外の金銭の信託	751	607	619	11
有価証券の信託	28	28	19	△ 9
金銭債権の信託	22	21	20	△ 1
包括信託	3,422	4,325	3,772	△ 553
負債合計	4,407	5,472	5,192	△ 279

補足資料(5) リスク管理債権(不良債権)の状況

(単位:億円)

➤ 適切な与信判断と途上管理により、リスク管理債権は低減かつ低水準を維持。

リスク管理債権残高

	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
破綻先債権	0	0	1	0
延滞債権	54	43	33	△ 10
3ヵ月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	13	9	6	△ 3
残高	67	54	41	△ 12

金融再生法ベース開示債権残高

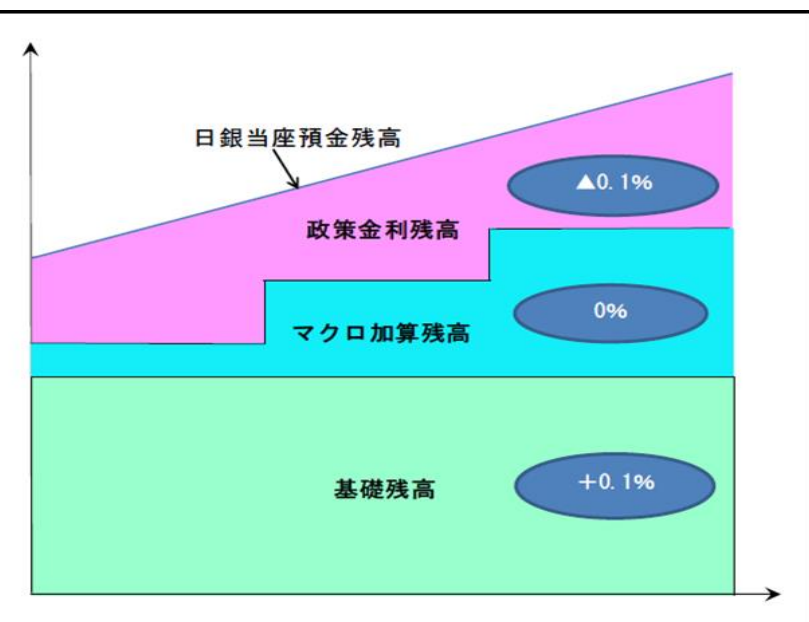
	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	14	11	16	5
危険債権	40	34	19	△ 14
要管理債権	13	9	6	△ 3
正常債権	10,654	11,869	13,208	1,339
合計	10,723	11,924	13,251	1,326

※上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

補足資料(6) 日銀マイナス金利政策の影響について

日銀マイナス金利政策の概要

- ・金融機関が保有する日銀当座預金に▲0.1%のマイナス金利を適用する。
- ・具体的には、日銀当座預金を3階層に分割し、各階層に応じてプラス金利、ゼロ金利、マイナス金利を適用する。



出典：日本銀行HPより

①基礎残高（当社：270億円）

⇒各金融機関の2015年1月～12月における日銀当座預金の平均残高

②マクロ加算残高（当社：1,330億円）

⇒各金融機関の所要準備額

貸出増加支援基金等日銀借入

信託銀行のMRF受託相当額

日銀による追加分

③政策金利残高（当社：対象なし）

⇒①、②を超過する部分



当社の日銀当座預金はマイナス金利の影響のない範囲。
(16/3末残 230億円)

